



インスピレーションになろう

バリー・ラシン
2018-19年度国際ロータリー会長



No.38

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“価値あるロータリーを”

- ①居心地のいいクラブ
- ②いつでもどこでも誰とでも親睦
- ③会員同士が刺激しあい、尊敬しあい、お互いの活力になろう
- ④ロータリーの価値を意識しよう

例会記録 (2019. 4. 26 (金)) 通算3,212回

◆開会・点鐘

◆ロータリーソング「我等の生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆プログラム予定

5月10日 (金)	5月17日 (金)	5月24日 (金)	5月31日 (金)
臨時総会 卓話「ロータリーの 歴史とJAZZ」 守光 隆 会員	卓話 兵庫県公営企業管理者 片山 安孝 氏	委員会引継ぎ ガバナー補佐訪問 各委員会	クラブフォーラム 事業報告 各委員会

◆出席報告

本日4月26日 会員数42名 出席者 24名 出席率 57.14%
前々回4月12日 会員数42名 修正出席者38名 出席率 90.48%修正

◆MAKE-UP

桂田 重信会員	地区大会	4月17日 (4月19日)
西田 秀雄会員	e-CLUB	4月25日 (4月26日)
有馬喜代貴会員	e-CLUB	4月24日 (4月26日)
堀 直樹会員	e-CLUB	4月21日 (4月26日)
後藤 純次会員	e-CLUB	4月22日 (4月26日)
堀 直樹会員	e-CLUB	4月16日 (4月19日)
中尾 良治会員	e-CLUB	4月16日 (4月19日)
中尾 良治会員	e-CLUB	4月16日 (4月26日)
森本 幸吉会員	e-CLUB	4月15日 (4月12日)
森本 幸吉会員	e-CLUB	4月15日 (4月26日)
桂田 重信会員	e-CLUB	4月12日 (4月12日)
富沢 康雄会員	e-CLUB	4月12日 (5月10日)

◆地区大会表彰

20年100%連続出席 桂田重信会員



桂田重信 会員と坂井智代 会長

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

坂井 智代会長……献血例会のご協力ありがとうございました。鎌谷会員の卓話楽しみにしています。

後藤 宗久幹事……鎌谷会員、本日の卓話よろしくお祈いします。

落合 計夫会員……配偶者誕生日祝を頂きありがとうございます。

◆委員会報告



大村泰司 会員



脇谷政孝 クラブ奉仕委員長

◆幹事報告

〈国際ロータリー第2680地区より〉

◎3月2日のIMで行われました「ポリオチャリティー募金」について各クラブの募金額が決定しました。高砂RCは¥13,000-となっております。

詳細は回覧で確認をお願いします。

〈例会変更のお知らせ〉

◎加古川平成RC

5月 1日(水) → 休会

5月22日(水) → 5月25日(土)に変更

「30周年記念式典のため」

◎姫路RC

4月30日(火) → 休会(祝日のため)

◎姫路南RC

5月 6日(月) → 16日(木) 12:30~13:30

於:福崎町商工会館 2F 多目的ホール

〈その他〉

◎ハイライトよねやま229号が届いております。

◎4月19日合同献血例会のご報告

受付者89人、献血者76人



後藤宗久 幹事

◆会長の時間

「チームワーク」

4月19日の合同献血例会では皆様のご協力ありがとうございました。担当の後藤純次社会奉仕委員長、お疲れ様でした。会場を提供くださった森本会員ありがとうございました。

本庄会員は、スポンサーとしての協賛品を提供いただいただけでなく献血くださった方々おひとりおひとりに終日お礼の品を丁寧にお渡しくださり、池本会員は看板の設置と撤去を、脇谷副会長が協賛品の袋詰めなどの準備を、覚野会員もほぼ一日会場を見守り続けてくださりまして、感謝です。また後藤宗久幹事と鎌谷会員は、ショッピング街内を歩き回り、献血協力の声掛けをしてくださいました。私も手伝いましたが、いろんな理由で献血を断り続けられると次はどう断られるのか恐怖心で心が折れそうでした。献血を嫌がられるのではなくむしろ「献血したい！」と思ってもらえるような工夫はできないのか、一般市民に事前に理解を得るための努力は十分だったのか個人的に反省しています。



坂井智代 会長

今回の活動で私が思ったのが、いい活動をするために「チームワーク」を意識することの必要性です。組織の特性を評価するのに、その組織にはどのようなチームがあり、どの程度のチームワーク性があるのかをみられます。色々なミッションで成果を上げるためにはチームワークが必要です。「チームワークがよい」とはどういうことか？よく参考にされるのが、ディキンソン教授（オールド・ドミニオン大学）とマッキンタイア教授（オハイオ大学）が1997年に発表した「チームワーク・モデル」です。そこには、チームワークに必要な7つの要素として、コミュニケーション・チームの指向性・チームのリーダーシップ・モニタリング・フィードバック・支援・相互調整が示されています。また山口裕幸教授（九州大学）が、医療現場におけるチームワークの良しあしを決める因子を、国内の病院看護チームの研究から発表しています。そこでは「よいチームワークとは、まずチームを構成しているメンバーお互いが同じチームメンバーであることを意識し、そのチームの役割や目標をしっかりと認識することを起点とする。次にリーダーシップを発揮するリーダーの下で与えられた個々の役割をしっかりと果たしながら、その過程でお互いの業務の内容や進め方をモニタリングし合い、何らかの問題があれば率直なフィードバックを行い、必要があればお互いに支援し合い、必要に応じて相互調整を行うことによってチームワークを高める必要がある。」としています。それを支えるのは双方向性のある“コミュニケーション”であり、高いレベルで機能しているチームほど「チームワークが良い」とされていて、それを支えるのが「コミュニケーション」であり、「リーダーシップ」です。メンバーはコミュニケーション・スキルをしっかりと身につけ、リーダー職にある人はリーダーシップを学び、それについてフィードバックを受けることがとても大切とされています。

今回の献血例会では、個々の会員のスキルはものすごく高いのですが、チーム力を発揮しきれたのが私の反省材料で力不足です。もちろん当日は阿吽の呼吸でしっかりと活動はできました。しかし「チームワーク」をもっと意識すれば、さらに質の高い活動ができるのではないかと感じます。今後も個々のロータリー活動の目標や役割を見極めつつ、高いチームワークをもって活動するのが理想と思いました。

◆第1回高砂ロータリークラブOB会

平成31年4月28日(日) 加古川ゴルフ倶楽部&りんどう



◆本日のプログラム

卓話「支払われない保険」

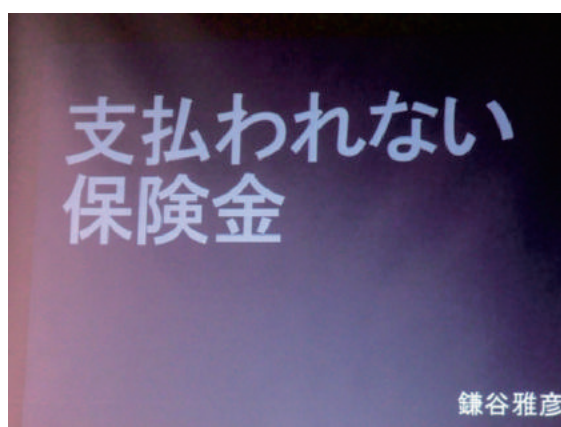
プルデンシャル生命保険株式会社 鎌谷雅彦 会員



落合計夫 プログラム委員



鎌谷雅彦 会員



会 長 坂井 智代 幹 事 後藤 宗久
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 加茂 良祐
例会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/